

特定非営利活動法人 ふうどばんく東北 AGAIN

2018 年度 事業報告書

第 10 期

2018 年 4 月 1 日 ~ 2019 年 3 月 31 日

2019年6月18日 通常総会

2018年度 事業報告書

目次

1 2018年度 事業総括	1
2 フードバンク事業	1
2.1 概要	1
2.2 支援方法	2
2.3 支援実績	3
2.4 企画イベント等実績	3
2.4.1 フードドライブ	3
2.4.2 フードボックス設置	4

2.4.3 講演会活動	4
2.5 マスコミ掲載	5
2.6 視察・意見交換	5
3 就労移行支援事業「就労サポートセンターあがいん」	6
3.1 概要	6
3.2 就労サポートセンターあがいんの様子	7
4 組織体制等	9
会員・ボランティア	9
4.1.1 会員数	9
4.1.2 登録ボランティア	10
4.2 情報発信	10
4.3 役員(2019年3月末時点)	10
4.4 事務局	10
5 理事会	11
理事会	11
6 助成金・寄付金	11
6.1 助成金	11
6.2 寄付金	11

1 2018 年度 事業総括

2016 年 10 月に富谷市に事業所を移転し、倉庫や社有車など団体の基盤拡充と職員の増員を行って
来ました。2017年5月からは就労移行支援事業を開始し、全国で初めてのモデルとなる障害のある方の
フー

ドバンク活動への参加も実現しています。フードバンク活動という社会貢献を通じて就労のためのスキル
向上

を図るという取り組みはマスコミ等に取り上げられるなど一定の評価と意義も認められましたが、利用者
数が計

画通り伸びず、事業改善にも努めるものの収益改善にはむすびつかなかった結果、残念ながら 2019 年
1 月

に就労移行支援事業の休止を決断しました。

フードバンク事業につきましては、従前にも増して緊急性の高い食糧支援依頼が増え、特に生活保護
費支

給日前の月末には 1 日に 10 件にもおよぶ支援依頼も受けるようになっていきます。食糧支援の延べ人数
こそ

昨年度を下回っていますが、団体支援から個人支援へシフトしたことを考えると、当団体の活動の意義や
重要

性はこれまで以上に高くなっていると考えま
す。

本年度の新たな事業としてコミュニティ支援をスタートしました。これまでもマルシェ開催など地域の
方々が

気軽に集まることのできる「場」を提供して参りましたが、今年度は就労移行支援事業の休止により空いた
スペ

ースを活用して、食事会やマルシェなどのイベントを定期的で開催するようになりました。フードボックスを
設置す

るなど、来場する方々に対しフードバンク事業の啓蒙とご協力にもつながって
います。

2 フードバンク事業

2.1 概要

2018 年度に食糧支援した人数は、のべ 9,218 名(1,115 件)、その支援重量は 24 トン以上になりました。この数は、生活困窮者への支援の面からみても、また食品ロス・環境問題の面からみても、非常に意

義のある、大きな役割と成果を達成したと言えます。6 人に 1 人が相対的貧困と言われる日本社会

では、いまや生活困窮は、誰がいつなってもおかしくない社会全体の課題と言えます。

活動に参加し協力してくださる個人や団体の呼びかけにも力を入れてきました。当団体と連携しながら、共

に食糧支援や生活の包括支援をおこなっている連携団体(行政・子ども食堂・学習支援・施設・被災地支援団体・各相談機関など)の数も増えました。この数は、当団体の活動の認知度が更に広がっていることと、市民

の多くの方々が、生活困窮や食品ロスという社会課題への関心の高さ、そして“困っている方の力になりたい”と

いう気持ちの表れであると感じており、大変嬉しく思っております。

上記の体制を整備するために、一旦は、これまで食糧提供していた団体の中から緊急性の低い団体への

食糧支援は中止し、生活困窮者に絞るといった断腸の判断もしてきましたが、多くのボランティアさん、連携団体、

企業の皆さんにご協力いただきながら体制整備できたことにより、昨年度とほぼ同じ人数の方に“命と暮らしを

守る”食糧支援を実施することができました。

広報の面では、常に食糧を寄贈いただける仕組み作りと、食糧支援を必要としている方への情報提供、活

動に参加協力いただける方をいかに増やしていくか、という3つの当団体が抱える課題を解決するために非常

に重要な取組みとして力を入れてきました。どれも反応や注目度は高く、市民の関心の高まりを感じるだけでな

く、こういった地道な広報活動によって、今、食べられない方へ情報が行き届き、命をつなぐことができ、困窮者

支援と食品ロス・環境問題の両面において、非常に多くの方々の関心が集まり、活動の輪が広がり続けていま

す。データ収集の面では、2年前までは支援ケース記録を詳細に取れていませんでしたが、去年から障害や病

気、生活保護受給の有無、家族構成、ライフラインの状況などの詳細データを取り始め、その他にも、寄贈い

ただいた食糧品の重量や、食糧支援した重量などのデータも取ることで、より正確なデータで説得力のある現

実の数として、現状を広く伝えていく材料として活用していくと共に、このフードバンク活動の必要性や意義、そ

して困っている方々への支援・施策のあり方をさらに社会に伝えていきたいと考えています。

職員のスキルアップの面では、これまで生活困窮者と接したことがない職員が大半の中、困窮者から相談が

あった際に、本人の声に耳を傾けること、その方に寄り添った支援をしていく姿勢を大事にすることに力を入れて

きました。この相手に対する姿勢は、障害のある方への就労支援においても共通して重要になってくる基本的

姿勢になることから、就労支援の研修や、日々接する相手との関係の中で、身に付けてきました。そのことで、

5時間近い相談にもものことができ、涙を流しながら喜んでくれる相談者や、中には元気になったらお礼に来ま

すと言ってくれる相談者などもおり、フードバンク活動において、支援数だけではない、一番大事な対応がしっか

りとおこなってきたと感じています。

これからも、私たちは“お腹を満たす食糧支援”だけをしているのではなく、食糧を寄贈して下さる多く

の方々の温かい気持ちをお届けする役割もあり、この食糧支援を通して、生活に困窮している方が、少しでも

勇気や元気をもらい、生きる力を得られることができるような活動をしていきたいと思
います。

このように、当フードバンクの活動の意味は非常に大きいものと改めて実感しているのと同様に、食糧
支援と

いう活動を通して、“誰も取り残されることのない、希望が持てる共生社会”に向けて、これからも困って
いる

方々の一助となれるような活動をしていきたいと強く感じておりま
す。

2.2 支援方法

以下の3通りの方法で食糧をお届けしています

- 1.当団体が直接配達・または郵送でお届けする「直接支援」
- 2.連携団体を通じて食糧をお届けする「連携支援」
- 3.団体や施設を通じて、その利用者に食糧をお届けする「団体支援」

特定非営利活動法人 ふうどばんく東北 AGAIN - 2 -

2018 年度 事業報告書

特定非営利活動法人 ふうどばんく東北 AGAIN - 3 -

※1 直接支援 (個人)

※3 連携団体

※2 連携支援 (個人)

※4 団体支援

個人 個人 個人

企業・団体・行政

個人

NPO 法人 ふうどばんく東北 AGAIN

※2 連携支援 (個人)

※1.直接支援=当団体が直接に食糧支援をおこなった個人支援ケース ※2.連携支援=連携団体から食糧支援をおこなった個人支援ケース ※3.連携団体=当団体と連携団体にある団体
※4.団体支援=当団体が食糧支援している団体

2.3 支援実績

支援人数:9,218 名

支援件数:1,115 件

支援総重量:24トン

連携団体:206 団体

2.4 企画イベント等実績

2.4.1 フードドライブ

計 14 回 開催 実施日 イベント名 場所

1 4 月 28 日(土) 音楽イベント(一社)アートインクルージョン

2 4 月 29 日(日) 春のもったいない市 勾当台公園

3 5 月 1 日(火) 第1回 みんなのマルシェ AGAIN 事務所&パンセ従業員駐車場

4 5 月 26 日(土) 2018 どんどこ市 ぶらんど~むー番町

5 5 月 27 日(日) 2018 どんどこ市 ぶらんど~むー番町

6 6 月 6 日(水) 2018 瑞宝太鼓コンサート 楽楽楽ホール

7 7 月 城南高校 学生が校内でフードドライブ実施

8 9 月 2 日(日) 仙台市 エコフェスタ 勾当台公園

9 9 月 12 日(水) スペシャルな日本・宮城

李政美チャリティーコンサート 2018 楽楽楽ホール

2018 年度 事業報告書

10 10 月 13 日(土) 今泉リサイクルセンターエコフェスタ 今泉リサイクルセンター

11 10 月 14 日(日) 第3回 みんなのマルシェ AGAIN 事務所&パンセ従業員駐車場

12 10 月 28 日(日) ハローウィンマルシェ 仙台駅 東口 ekituzi

13 11 月 白石高等学校 学生が校内でフードドライブ実施

14 3 月 10 日(日) 第1回 だれでもクリエイター(一社)アートインクルージョン

2.4.2 フードボックス設置

実施 計2回

設置期間 場所 協力団体

1 10 月 15 日(月)~11 月 11 日(日)

特定非営利活動法人 ふうとばんく東北 AGAIN - 4 - 仙台市内 各区役所(1 階) たまきさんサロン、泉環境事業所 葛岡リサイクルプラザ、今泉リサイクルプラザ

仙台市 環境局

2 10 月 15 日(月)~常設 今泉リサイクルプラザ 仙台市 環境局

2.4.3 講演会活動

計 22 回

日時 主催・イベント名 会場

1 4 月 22 日(日) 自立生活センター CIL ほにやら CIL ほにやら(茨城県つくば市)

2 4 月 23 日(月) 自立生活センター CIL ほにやら CIL ほにやら(茨城県つくば市)

3 4 月 26 日(木) 富谷市 手をつなぐ育成会 総会 富谷市役所 保健福祉総合支援センター

4 5 月 9 日(水) 宮城県議会障がい者福祉調査特別委員会 AGAIN 事務所

5 5 月 27 日(日) アートインクルージョン(2018 どんどこ市) ぶらんど~むー番町

6 6 月 5 日(火) 東北文化学園大学 総合政策学部(非営利組織論) 東北文化学園大学

7 6 月 6 日(水) 2018 瑞宝太鼓コンサート 楽楽楽ホール

- 8 6月16日(土) 共同連東北ブロック大会 エルパーク仙台
- 9 6月20日(水) つぐカフェ・就労サポートセンターつなぐ 就労サポートセンターつなぐ(登米市)
- 10 7月6日(金) 仙台青葉学院短期大学(青山ゼミ) AGAIN 事務所
- 11 7月13日(金) 城南高等学校 城南高等学校
- 12 8月28日(火) みやぎ高次脳機能障害友の会・岩沼 岩沼市総合福祉センター i あいプラザ
- 13 10月19日(金) 泉区・黒松地区の自立支援協議会 レストラン びすた〜り
- 14 10月29日(月) 宮城県立 白石高等学校 AGAIN 事務所
- 15 11月2日(金) 就労サポートセンター とれいん (一社)コ・エル(気仙沼市)
- 16 11月14日(水) 仙台市保護観察所 仙台市保護観察所
- 17 11月16日(金) 仙台青葉学院短期大学 AGAIN 事務所
- 18 11月22日(木) 南光台 地域包括圏会議 南光台市民センター
- 19 1月25日(金) 就労準備支援センター 就労準備支援センター
- 20 1月26日(土) みやぎ NPO プラザ フォーラム
- 「ボランティアと、NPOの未来を拓こう!」 みやぎ NPO プラザ
- 2018年度 事業報告書
- 21 2月4日(月) 公明党 県議会議員視察(6名) AGAIN 事務所
- 22 2月7日(木) 宮城県 アディクション問題研究会 東北会病院 研修室

2.5 マスコミ掲載

計 13 回

日時 マスコミタイトル

14月30日(月) 河北新報社 朝刊

特定非営利活動法人 ふうどばんく東北 AGAIN - 5 -

フードバンク×アトリエ 助け合い にぎわい創出 あす富谷でマルシェ 新住民 楽しむ機会に

25月3日(木) 読売新聞 朝刊 富谷でマルシェ

36月26日(火) 河北新報社 朝刊 登米の障害者就労支援センター

訓練にフードバンク業務

46月29日(金) ラジオ:TBC

『ロジャー大場のラジオな気分』 第2回 みんなのマルシェ 告知&AGAIN 活動紹介

57月号 広報 TOMIYA 第2回 みんなのマルシェ 告知

67月10日(火) ラジオ:FM たいはく

『鈴木はるみの“ソーシャルで行こう!”』 AGAIN の活動紹介

77月24日(火) ラジオ J-WAVE JAM THE WORLD AGAIN 活動紹介(震災と生活困窮)

89月~ J:COM テレビ番組『仙台人図鑑』出演 ゲスト 小椋亘(AGAIN の活動紹介など)

910月1日(月) 朝日新聞デジタル 食品ロスなくせ、企業や福祉団体が会合

1010月29日(火) 河北新報社 朝刊 仙台市 余剰食品寄付「フードドライブ」

回収拠点を長期設置

1111月9日() ラジオ:TBC

『ロジャー大場のラジオな気分』 仙台市フードドライブ告知&AGAIN 活動紹介

1211月24日(土) 河北新報社 朝刊 <仙台青葉学院短大>フードロス学び解消へ NPOと

連携協定、学園祭で食料品提供呼び掛け
13 2 月 10 日(日) 公明新聞 備蓄食糧を困窮世帯へ
宮城県がフードバンクに寄贈

2.6 視察・意見交換

日時 詳細 場所
1 5 月 9 日(水) 宮城県議会『障がい者福祉調査特別委員会』(議員 11 名) AGAIN
2 2 月 4 日(月) 公明党 県議会議員視察(6 名) AGAIN

その他

日時 内容 詳細 関係団体
1 4 月 ピアサポーター講座受講生 実習受入れ 精神障がい者
ピアサポーター2名 NPO 法人 仙台市精神障害者連絡協議会
2 10 月 NPO 法人 あいの郷 利用者実習受入れ 男性2名、女性2名 NPO 法人 あいの郷

2018 年度 事業報告書

3 就労移行支援事業「就労サポートセンターあがいん」

3.1 概要

就労移行支援事業『就労サポートセンターあがいん』の、フードバンク活動を通じた就労支援のあり方は、全

国初の取り組みで、職員全員が共に考え工夫を凝らしプログラム内容をつくってきました。私たちは、フードバンク

活動に加えて、フードバンク活動を通じた就労支援事業に取り組むことで、障害のある方の社会参加、地域参

加、障害の有無にかかわらず、“誰も取り残されることのない”誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指

してきました。しかし、思ったよりも利用者の数が増えず、2019 年 12 月末を持って、事業を中止しました。

あがいんの最大の特徴は、座学形式のプログラムに加えて、フードバンク活動を通じたプログラムがあることで、

フードバンク活動を通して、人や社会との豊かな繋がりを肌で感じられるプログラム内容にありました。プログラム

は大きく4種類あり、「職場でいかせる役に立つ より実践的な就労に向けたプログラム」「実際に誰かの役に立

っているが実感できるフードバンクを通じた社会参画型プログラム」「多くの人や社会と出逢い 視野と可能性が

広がる 暮らしに役立つプログラム」「仲間がいることの喜び 楽しさ 安心 励み お楽しみ会」があり、全て

のプ

ログラムにおいて“誰かのために”という姿勢を軸とし、社会参画や人と交わることの楽しさを体感できる内容を大

事にしてきました。フードバンクを通したプログラムでの作業内容は、食糧の受取り、食糧の箱詰めやお届け、在

庫整理など、ほど全ての工程を障害のある方1人1人の障害特性に合った方法で取り組んでいます。この中

には、計算、記入、挨拶、地図、対人スキル、パソコンスキル、正確な読み取り・書き取り、コミュニケーションな

どの、非常に多くのトレーニング内容も含まれています。日々、フードバンク活動を通して、職員や利用者という

枠を越えて皆が「今、食べるものがなくて困っている方の力になりたい」という思いで活動を共にしてきました。普

段、自分たちが食糧を提供している「子ども食堂」や「ホームレス支援団体」に手伝いに行き、普段、自分たち

が集め在庫管理し提供している食糧が、実際にどのように役に立っているかを知り肌で感じることもプログラムの

一環で大事にしてきたことです。

私たちはプログラムを通して、障害のある方々が「ありがとうね!またよろしくね!」と直接お礼を言われること

の多いフードバンク活動での経験を通して、自分自身の存在意義を再確認し自信に繋がればと願うと同時に、

誰かの役に立つことの喜びや働く楽しさ、社会参画して人と接することの楽しさ、そして自分を必要としている人

がいるという想いから湧く責任感を感じることができ、就職や復職につながるサポートをしていきたいと考えていま

す。また、それだけでなく、就労サポートセンターあがいんでの経験が、その方の今後の人生において、より豊かな

人間関係や社会との繋がりが築けるきっかけになれば、それ以上に嬉しいことはないと考えています。

昨年、あがいんを見学に来られたお母さんとの話です。知的障害がある高校2年生のお子さんの事情をお

聞きすると、今、子どもと卒業後の進路を考えているところで、子どもと色々な事業所を見学しているとのこと。

その内に段々と親の方が楽しくなり興味が深まり、今、さまざまな支援のあり方などを各事業所を見学しながら、

進路や自分の子どもにとってどんな環境が合っているのかを考えているとのことでした。あがいんのプログラムで大

事にしていることや、私たちの想いをご説明したところ、「私たち親は親亡き後に、自分の子どもがどうなるかが心

配でならない。正直、子どもの将来が心配で心配で夜も寝れない時もある。生きていくためには確かにお金も

必要。だけど、親として我が子に、もっと望んでいるのは、この子が社会の中で、たくさんの人に囲まれて助け合

いの中で、楽しく生きていけること。あがいんさんではそれを大事にしている。他の事業所に無いものがある。見

学にこれほど本当に良かった。」と涙を流しながらお話されていました。

特定非営利活動法人 ふうどばんく東北 AGAIN - 6 -

2018年度 事業報告書

働くことは社会で生きること、そのものです。阪神淡路大震災の時も大きな課題となりましたが、東日本大震災の時も、地域との繋がりがりや助けを出せたり相談ができる人がいない障害者や社会的弱者と言われる方への

支援は遅れに遅れ、行き届かないこともあったことや、障害理解が得られず避難所で生活することさえできなかった

った障害者が続出したように、同じことを繰り返さないためにも、人との繋がりがりや地域社会との繋がりを築いていく

ことは、結果として豊かで安心な暮らしに直結すると考えています。当団体では、フードバンク活動を、障害があ

る方が社会参加することができる場やツールとしても利活用していくことで、生活困窮者支援だけにとどまらず、

障害のある方が社会参加できる機会を創出し、より多くの方に障害理解を促進していくことで、障害があっても

働きやすい社会の実現や“誰も排除されることのない”共生社会の実現を目指してきました。

8名いた利用者さんの中には、1人1人さまざまな背景を持っておりました。出所者、知的や精神の障がい、育った環境、経験値、いじめ、なかなか友だちが作れない、などなど。しかし、皆さんにとって当事業所での

経験や感じたことが、今後の更なる豊かな人生につながれば、と願っております。

3.2 就労サポートセンターあがいんの様子

特定非営利活動法人 ふうどばんく東北 AGAIN - 7 - 食糧提供している団体の活動を学ぶ

自分たちが食糧提供している団体を見学

普段、自分たちが在庫整理し提供している食糧が、実際にどの食糧提供している団体へ見学やお手伝いに行き、実際にどのように活用されているかを知ることで、誰かの役に立っているかのように活用されているかを知る事で、誰かの役に立っていることを肌とを肌で実感。

で実感。

フードドライブ

ご家庭にねむっている食糧を集める活動『フードドライブ』を、様々なイベントで実施。来場者に活動を紹介したり、食品の受付をしたり、チラシを配ったり。色々な人と交流する機会になっています。

食糧の受取り

個人の方からの食糧寄贈の対応や、企業に食糧品を受取りにあがるなどをおこない、より社会参画し、さまざまな方と接する経

験を多く積んでいます。

2018年度事業報告書

食糧の箱詰め

食糧をお届け

『食糧支援要請書』の中身を見ながら、食糧を必要としている炊き出し団体、ホームレス支援団体、子ども食堂、行政、施設の家族構成・健康状態・ライフラインなどを想像しながら、適切ななどへ食糧をお届けに行きます。直接「ありがとう」と言われること食糧を箱詰めします。

が多く、自分が人の役に立っていることを肌で感じ、やりがいも得も食堂など…。(社会参加、対人関係、伝票、地図)

られる貴重な経験です。

外部講師を招いての講座

企業見学

外部から、さまざまな講師をお招きし、企業のお話、ビジネスマ

多種多様な職場を訪問。仕事内容や、働く上で大切なこと等を、ナー、仕事について等の講座を開催。現場の生のお話を聞くこ

企業の方から説明を受け、実際に障害のある方が働いている現場とで、働く上で大切な事を学びます。

を見学します。自分に合った仕事、やりたい仕事を見つける目的もあります。社会を知り、自分を知り、仕事を知る事で、将来の就労に向けたイメージを創ります。

料理教室

食べることは生きること!健康的な身体を自己管理していく為にも、食事は大事です。献立・買出・調理など段取りや食育学習・交流を含めた機会を設けています。

特定非営利活動法人 ふうどばんく東北 AGAIN - 8 - 障害当事者の話を聞く

サロン活動や様々な活動をしている障害当事者をお招きし、活動紹介、地域生活の仕方、仕事の仕方など、様々な生の知恵を学び、視野を広げます。

仲間に誕生日の方がいる月には、みんなで料理をして、誕生日のお祝いをします。この日は、ホットケーキでデコレーションケーキを作って食べました

4 組織体制等

会員・ボランティア

4.1.1 会員数

お誕生日会

● 個人会員:12名

● 法人・団体会員:11 団体 法人・団体会員

- 1 一般社団法人 Luominen
- 2 同和警備株式会社
- 3 生活協同組合あいコープみやぎ
- 4 データコム株式会社
- 5 特定非営利活動法人ほっぷの森
- 6 一般社団法人アート・インクルージョン
- 7 公益財団法人日本クレジットカウンセリング協会
- 8 有限会社宮城中央保険
- 9 有限会社司製茶仙台
- 10 みやぎ生活協同組合
- 11 慈明寺

仲間がいることの喜び・楽しさ・安心・励み。事務所の広い駐車場で、フードバンク活動のボランティアさんや、理事さんも含め、みんな でバーベキューなどの年間を通して季節行事を楽しんでいます。

夏のバーベキュー

- 賛助会員:個人3名

賛助会員:法人 1 法人 株式会社ユアテック

4.1.2 登録ボランティア

- 実働者数:10 名

4.2 情報発信

- HP(「NPO 法人 ふうどばんく東北 AGAIN」で検索 <https://www.foodbank.or.jp/>)
- フェイスブック(「NPO 法人 ふうどばんく東北 AGAIN」で検索 @foodbank.tohoku.again)
- ブログ(「就労サポートセンターあがいん」で検索 <http://blog.canpan.info/again/>)

4.3 役員(2019年3月末時点)

役職 氏名

代表理事 地主 雅信

副代表理事 立岡 学

理事 小澤 義春

理事 齊藤 きえ子

理事 白木 福次郎

理事 武田 耕嗣

理事 新沼 鉄也

理事 野崎 明

理事 矢野 由美子

監事 吉野 潤一

4.4 事務局

役職 氏名 備考

管理者、サービス管理責任者 小椋 亘 現任

生活支援員 鈴木 美保子 2019年1月10日付けで退職

職業指導員 茶谷 小百合 2019年1月10日付けで退職

就労支援員 金 てるみ 2019年1月10日付けで退職

生活支援員 児玉 みゆき 2019年1月10日付けで退職

職業指導員 遠藤 信彦 2019年1月10日付けで退職

就労支援員 齋藤 きえ子 2019年1月10日付けで退職

5 理事会

理事会

開催日時 開催場所

- 第1回 4月24日(火)19:00~ データコム会議室
- 第2回 6月25日(月)19:00~ データコム会議室
- 第3回 8月27日(月)19:00~ データコム会議室
- 第4回 12月4日(火)18:30~ データコム会議室
- 第5回 3月25日(月)18:30~ データコム会議室

6 助成金・寄付金

6.1 助成金

助成金名称 金額

- 宮城県フードバンク活動支援事業補助金 500,000
- 特定非営利活動法人 WE21 ジャパンみどり 250,000
- NHK 歳末助け合い宮城県共同募金 30,000
- 合計 780,000

6.2 寄付金

寄付者お名前 金額

一般社団法人 WATALIS 4,101
つるがや子ども食堂 6,000
佐々木 様 55,000
団地の洋食屋ビエータ 5,360
ひつじぐも&きたのおうち 1,190
Choko 160
もったいない市来場者 1,432
どんどこ市来場者 2,673
宇佐美 様 7,000
BAKERY CAFE こうあん 24,150
千葉 様 5,000
2018 年長崎瑞宝太鼓チャリティーコンサート実行委員会 309,136
阿部 様 5,000

特定非営利活動法人 ふうどばんく東北 AGAIN - 11 -

2018 年度 事業報告書

内崎 様 5,000
モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所 30,000
仙台市エコフェスタ 2018 2,500
栗原 様 2,300
特定非営利活動法人 WE21ジャパンみどり 1,906
ニカイドウ 様 10,000
亀山 様 5,000
和田 様 10,000
須賀田 様 10,000
反貧困みやぎネットワーク 4,401
特定非営利活動法人ふうどばんく東北AGAINボランティア 1,119
特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川 20,000

復興の詩プロジェクト実行委員会 41,500

Atelier Jina 24,406

合計 594,334

※ 個人の方からの寄付については苗字のみを記載して
います。

フードバンク活動にご協力をお願いいたします

年会費/賛助会員1口 1,000 円~、個人会員1口 5,000 円~、法人・団体会員1口 10,000 円~ 振込み先/ゆう
ちょ銀行.八ー八支店.普通 2267021 名 義/特定非営利活動法人 ふうどばんく東北 AGAIN

以上